

～住んで良し、来てみて楽しい街
草加を目指して～



市政トピックス

新草加消防署建設に着手

老朽化した草加消防署の移転時期がみえてきました。まつばら綾瀬川公園南側移転新築工事4回目の入札(税込約42億4,300万円)で契約、令和9年9月末完成予定。



9月定例会

R6年度決算Pickup(決算特別委員会副委員長の目)

●一般会計決算額歳入958億3,942万、歳出912億4,911万円、次年度繰越財源3億7,058万円を引き実質収支は42億1,972万円の黒字、このほとんどを財政調整基金(緊急時に使う貯金)に繰り戻しています。また、全会計市債(借入金)残高は942億3,158万円と前年比52億4,121万円減少、ピーク時のH16年度1,425億2,564万円から約483億円減少。

公共施設照明
LED化へ

文化会館・コミセン等23施設(小中学校等除く)照明をLED化、予算規模一般財源3,300万、国の脱炭素化推進事業債2億9,700万、計3億3,000万円規模。年間CO²削減量約400t、電気代約2,400万円削減へ。

●歳入(収入) 市税は395億966万円、前年比5億3,139万円の減収、主な要因は個人市民税定額減税実施に伴う所得割額の減少。市たばこ税は258万円増の19億6,932万円。尚、R7年度当初予算は個人市民税、固定資産税等の増額を見込み399億5,963万円となっています。ふるさと納税による寄付金が約17億800万円、前年比11億2,600万円(293%)の増収、埼玉県で1位となりました。主な要因はティッシュペーパーやトイレットペーパー等日用品の返礼品に人気集中し増額となりました。R7年度予算は更なる増収を目指し30億円の歳入を見込んでいます。

●歳出(支出) 民生費は470億2,320万円と前年比27億7,931万円増、主な要因は対象を18歳年度末迄対拡大したこども医療費(扶助費)11億4,136万円等の増加。款別人件費(報酬・給料・手当・共済費等)総額は133億6,692万円と前年比10億8,436万円増。ここ数年急激に収益悪化が進む市立病院への繰入金(赤字補填額)は16億円、R7年度当初予算では17億円の繰入金を見込んでいます。

【課題】デフレからの脱却し、金利の上昇、物価の高騰、賃上げなどインフレ経済となりました。予算と事業の執行は30年以上続いたデフレ感覚からの意識改革と経済環境の変化に応じた柔軟な対応が求められます。



【政策提言】

昨年度より高齢者の皆様が老後を安心して過ごせる社会構築へ向け政策提言していた遺贈寄附の普及について

令和7年1月、草加市、一般社団法人日本承継寄付協会が遺贈に関する連携協定締結。

課題解決に一步前進。

草加市の人口構成を調べてみました 10年前対比 2025.10月現在

【課題】 年少人口の減少が高齢人口の増加を上回り日本人は減少。一方、外国籍の転入が増加し総人口は微増。

年少人口:▲7,098人↘↘↘ 日本人口: ▲425人↘
労働人口 :1,202人↗↗ 外国籍人口:7,470人↗↗↗
老齢人口 :5,471人↗↗↗ 総人口 :7,045人↗↗↗

【要望しています】 本市の合計特殊出生率はR5年1.02。1.0割れは「静かな有事」あらゆる手段を講じ市立病院産科再開等、安心して出産できる環境整備を!!
～本年2月定例会一般質問～

日本人平均年齢 47.2歳

外国籍平均年齢 34.1歳
年少人口 1,370人
労働人口 10,636人
老齢人口 498人

		2015-1月	2020-1月	2023-1月	2024-1月	2025-10月
日本人	年少人口(15歳未満)	32,138	29,111	27,123	26,363	25,040
	労働人口(15～64歳)	152,627	152,105	153,675	153,685	153,829
	老齢人口(65歳以上)	55,590	60,921	61,268	61,193	61,061
日本人口		240,355	242,137	242,066	241,241	239,930
外国籍		5,034	7,508	8,900	9,978	12,504
総人口		245,389	249,645	250,966	251,219	252,434

資料：草加市総務部庶務課統計係

令和7年度草加市平和大使事業

本年8月5日、6日、内在住中学生12名が広島市平和記念公園で開催された平和記念式典、第1回全国平和学習の集いへ参加、平和への理解を深めました。

参加者の「私の平和宣言」⇒



【政策提言】 パリポリくんバスの 草加市役所本庁舎へ 乗り入れを!!

市役所本庁舎へアクセス向上を要望
～令和5年2月議会一般質問～



戦後80年が過ぎました。日本の平和は多くの犠牲の上に成り立っています。3年前、市議会議員の付託を頂いた私は、こころ新たに政治へ向き合いたく昨年4月、知覧特攻平和会館へ足を運びました。英霊に御魂を捧げおもいを共有したかったからです。父方の祖父は満州から南方戦線へ移動の為乗船していた船がフィリピンとインドネシアの間で撃沈され今でもセレベス海に父をはじめ幼い子供4人を残したまま眠っています。その子供たちも80歳を超え、叔父叔母が亡き父の元へ昨年旅立ちました。戦争を体験された世代が年々減少する中、戦禍の恐ろしさや平和の尊さを次世代へ語り継ぐ必要を強く感じます。今後とも、地方議員の立場から世界の平和と繁栄に貢献する政治活動を目指して参ります。



田川 浩司 プロフィール

- R4.10 草加市議会議員初当選
総務文教委員会副委員長
草加八潮消防局議会議員
- R5 動物愛護管理条例制定WG
- R6 建設環境委員会委員
議会広報委員会委員
- R7 決算特別委員会副委員長
議会改革特別委員会委員
福祉子ども委員会委員

～草加生まれの草加育ち

- 草加市立高砂小学校卒業(同校元PTA会長)
- 草加市立瀬崎中学校卒業(同校元PTA会長)
- 埼玉県立草加高等学校卒業(同校同窓会長)
- 1987年 明治学院大学Ⅱ部経済学部卒業
- 株式会社 埼玉屋 代表取締役
- 株式会社 今様本陣 専務取締役
保護司
- 壱丁目町会 副会長
- 草加商工会議所 議員

